

e'forward Solution

実際にe'forwardをご導入いただいたお客様を訪問し、e'forward採用のきっかけ、活用ポイント、感想などのお話を伺いました。皆様の情報システム充実のヒントに活かして頂ければと思います。

Customer Report

株式会社 大月真珠 様

画像連携の実現

—— e'forward を採用された理由をお聞かせください。

● e'forwardでの画像連携

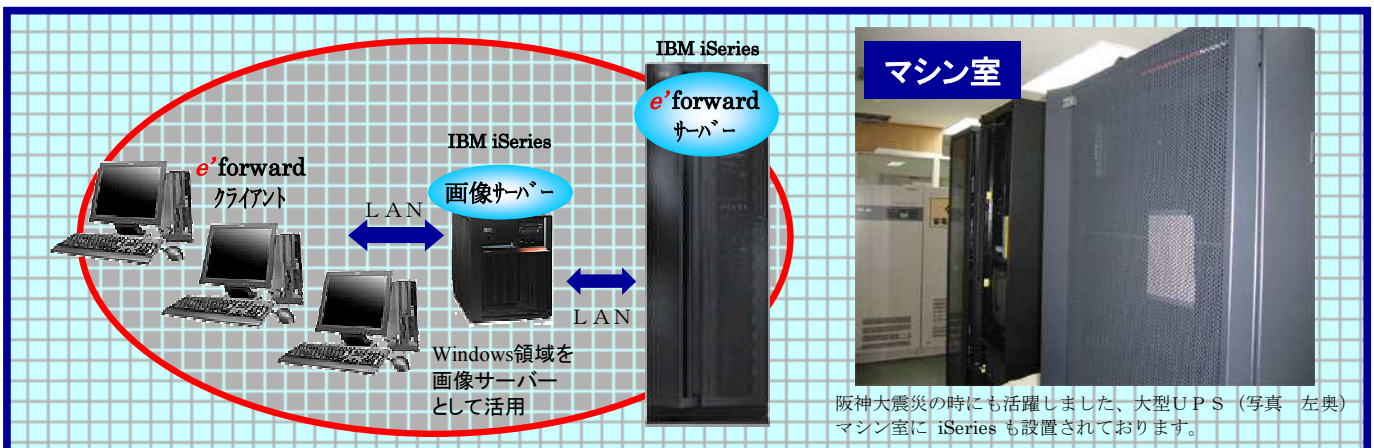
e'forward を導入する決め手となったのは「同一システム内で画像連携が可能になる」という事です。当社のユーザーからは、「オフコン画面から脱却したい。時代遅れだ。」といった見栄えに関する声は、ほとんどありませんでした。それよりも「商品データと画像が同時表示できないので、運用上不便だ。」といった、実務上の問題点を指摘されていました。

e'forward 導入前は、基幹システムと画像照会システムが別々に稼動していました。まず基幹システムで品番を調べ、次に画像システムでその品番から画像を表示させるといった二段階の操作が必要でした。ユーザーにとっては日々の業務ですから、手間がかかることにわずらわしさを感じていたようです。解決方法をいろいろと模索していた時にICRさんから、e'forwardを紹介していただき、同一システム内での画像表示が可能になるということで、導入することに決定しました。

● グリーンスクリーンと変わらない操作性を実現 ～ キーボードインターフェイス ～

画像連携に関しては、複数のシステム会社から提案がありましたが、その多くはWEB画面の提案でした。しかしWEB画面は体感的なレスポンスが悪いうえに、マウスや左手が必要になります。従来のグリーンスクリーンのシステムでは、右手のみの使用で、テンキーとファンクションキーの操作でほとんどの作業ができていました。それに比べるとマウス操作は動きが無駄が多くなかって作業に時間がかかってしまう面もあります。またカーソル移動もTabキーに変わり、その都度左手を使った操作が入りますので、入力業務等を担当する人にとってはとても不便です。その点においてもe'forwardの場合は、キーボードインターフェイスのシステム構築を前提として考えられていますので、操作性の面では以前と変わりなくシステム構築することができました。もちろん、マウス操作も出来ますし、パソコンを使い慣れないユーザーに対しても、操作性は向上しています。e'forward 導入が、直接業績UPに結びつくわけではないのですが、従来のグリーンスクリーンから操作方法がかけ離れない画面の作り込みができるということにも、WEB画面と違った魅力を感じました。

● システム機器構成



Profile

株式会社大月真珠様は、昭和5年の創業以来、75年にわたり、真珠

ビジネスのノウハウを蓄積されてきました歴史のある企業様です。

初代社長が愛媛県の宇和島に真珠養殖場を創設、昭和10年に真珠の世界的な集積地である神戸に移転され、今年で創業75年という大きな節目を迎えられています。

日本で養殖しているアコヤ真珠の15%~20%の買い付けをされており、取扱いシェアナンバーワンの実績を持たれております。また1975年以来、輸出額業界第1位の座も保ち続けられてきました。

関連養殖会社を国内に3社と、国外に3社を有する生産者であると同時に、すぐれた加工力をもつメーカーであり、真珠流通の商社としても、幅広い真珠ビジネスへの挑戦を続けておられます。



株式会社 大月真珠
システム室 室長 植原 正道 様

e'forward導入による効果

——— e'forward導入による新システムのポイントをお聞かせください。

●商品画像の一覧表示が実現

第1のポイントは、『商品画像の一覧表示』が可能になったことです。以前は、1つの品番ごとにしか画像表示が出来ませんでしたので、多くの商品を見る場合何度も同じ操作を繰り返さなくてはならず、使いにくいシステムでした。商品画像も未登録のままになっているものも多かったため、十分に活用できていませんでした。e'forwardを使った新システムでは、スクロールパネルで絞り込み検索をし一覧表示で確認することができ、必要であれば拡大して見ることもできます。一覧表示すると登録されていない商品は「NoPicture (ノンピクチャー)」と表示されよく目立ちますので、必ず登録するようになりました。レスポンスに関してもWEBと比較するとe'forward はかなり良いと思います。作業の効率化や確実な判断につながっていくと思います。

例えば実業務で店舗から「中石がルビーで、脇石にダイヤがちりばめられている指輪」の追加注文があったとします。在庫照会をしても、文字情報のみでは商品の属性情報に大差なくほとんど同じです。非常に分かりにくく、個人の感覚に偏った判断になってしまうわけです。しかし商品画像が表示されることで、全体のイメージがつかめるようになり、類似商品を探す場合でも、個人の感覚に偏らない判断ができるようになりました。更にユーザーが使い続けることにより、新たな画像の活用方法が生み出されてゆくことを期待しております。

商品問合せ画面



← 商品問合せ画面で、条件指定をしますと絞り込み検索をして一覧表示出来ます。又、商品画像も一覧で表示されます。

品番検索照会



商品問合せ画面の品番(□枠)を選ぶと品番検索照会の画面にとびます。

商品画像拡大



↑ 商品の詳細が表示されます。又、商品画像を複数の角度から見る事が出来ます。

← 品番検索照会画面の商品画像を選択すると、拡大表示されます。

●伝票・帳票の自由なデザインが可能に

第2のポイントは、e'forward の ReportDesigner により、伝票・帳票の自由なデザインが可能になったことです。従来の iSeries では、伝票そのものをデザインしておかないと、見栄えもしないし、またそのための印刷代が高くつきます。また、文字を拡大することしかできなかったため、表現力に乏しい帳票しか作ることができませんでした。しかし ReportDesigner なら、項目単位で複数のフォントも使えますし、文字のサイズもいろいろ変えることができるので、自由にデザインできるようになりました。A4サイズにデザインすれば、レーザープリンタからA4カット紙で出力できます。また、印刷プレビュー機能やPDF出力機能がありますので、すべてを印刷せず画面で内容を確認でき、必要な部分のみを印刷することもできます。PDFで保存し、メールに添付して送信することも可能です。伝票代も安くなったと思います。今は一部の帳票以外はe'forward で作っています。

●今後の弊社に期待すること等ございましたらお願いします。

以前から深い付き合いをしていますので、障害が出た場合も即時対応をしていただいていますし、ここがこうなったらという要望にも短時間での回答をもらっています。大月真珠としては非常に助かっていますし、その中で培ってきた信頼というのが、大きいと思います。

今後もこの信頼関係を維持して、e'forward と共に成長できたらいいですね。